

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第7部門第3区分  
【発行日】令和5年11月6日(2023.11.6)

【公開番号】特開2023-65676(P2023-65676A)  
【公開日】令和5年5月12日(2023.5.12)  
【年通号数】公開公報(特許)2023-087  
【出願番号】特願2023-35774(P2023-35774)  
【国際特許分類】  
H04N19/70(2014.01)  
【FI】  
H04N19/70

10

【手続補正書】  
【提出日】令和5年10月26日(2023.10.26)  
【手続補正1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】  
【請求項1】

プロセッサによって実行される、ビデオ符号化のための方法であって、当該方法は：  
ある符号化ツリー単位サイズを有するビデオ・データを受領する段階と；  
前記符号化ツリー単位サイズに対応する2つのフラグを、シーケンスパラメータセット  
またはスライスヘッダにおいて信号伝達する段階であって、  
前記信号伝達する段階は、  
前記2つのフラグのうちの第1のフラグであって、第1の符号化ツリー単位サイズに  
対応する第1のフラグを信号伝達し、  
前記第1のフラグが1である場合は、前記2つのフラグのうちの第2のフラグを信号伝  
達することなく前記第1の符号化ツリー単位サイズに基づいて前記ビデオ・データを符号  
化し、  
前記第1のフラグが0である場合は、前記2つのフラグのうちの前記第2のフラグを信  
号伝達し、信号伝達される前記第2のフラグに基づいて前記ビデオ・データを符号化す  
ることを含み、  
前記第2のフラグが1である場合は、前記ビデオ・データは第2の符号化ツリー単位サイ  
ズに基づいて符号化され、前記第2のフラグが0である場合は、前記ビデオ・データは第  
3の符号化ツリー単位サイズに基づいて符号化される、  
方法。

30

【請求項2】

前記2つのフラグは、32ピクセル符号化ツリー単位サイズ・フラグ、64ピクセル符号  
化ツリー単位サイズ・フラグ、および128ピクセル符号化ツリー単位サイズ・フラグの  
うちの2つを含む、請求項1に記載の方法。

40

【請求項3】

前記32ピクセル符号化ツリー単位サイズ・フラグが最初に信号伝達され、前記64ピク  
セル符号化ツリー単位サイズ・フラグは、前記32ピクセル符号化ツリー単位サイズ・フ  
ラグが1に等しくないことに基づいて信号伝達される、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記64ピクセル符号化ツリー単位サイズ・フラグが最初に信号伝達され、前記32ピク  
セル符号化ツリー単位サイズ・フラグは、前記64ピクセル符号化ツリー単位サイズ・フ

50

ラグが1に等しくないことに基づいて信号伝達される、請求項2に記載の方法。

【請求項5】

前記32ピクセル符号化ツリー単位サイズ・フラグが最初に信号伝達され、前記128ピクセル符号化ツリー単位サイズ・フラグは、前記32ピクセル符号化ツリー単位サイズ・フラグが1に等しくないことに基づいて信号伝達される、請求項2に記載の方法。

【請求項6】

前記128ピクセル符号化ツリー単位サイズ・フラグが最初に信号伝達され、前記32ピクセル符号化ツリー単位サイズ・フラグは、前記128ピクセル符号化ツリー単位サイズ・フラグが1に等しくないことに基づいて信号伝達される、請求項2に記載の方法。

【請求項7】

前記64ピクセル符号化ツリー単位サイズ・フラグが最初に信号伝達され、前記128ピクセル符号化ツリー単位サイズ・フラグは、前記64ピクセル符号化ツリー単位サイズ・フラグが1に等しくないことに基づいて信号伝達される、請求項2に記載の方法。

【請求項8】

前記128ピクセル符号化ツリー単位サイズ・フラグが最初に信号伝達され、前記64ピクセル符号化ツリー単位サイズ・フラグは、前記128ピクセル符号化ツリー単位サイズ・フラグが1に等しくないことに基づいて信号伝達される、請求項2に記載の方法。

【請求項9】

前記ビデオ・データに関連する前記符号化ツリー単位サイズが64ピクセル×64ピクセル以上であることに基づいて、64ピクセル最大ルーマ変換サイズ・フラグが信号伝達される、請求項2に記載の方法。

【請求項10】

前記32ピクセル符号化ツリー単位サイズ・フラグが最初に信号化されて1に等しいことに基づいて、前記64ピクセル最大ルーマ変換サイズ・フラグは信号伝達されない、請求項9に記載の方法。

【請求項11】

前記64ピクセル符号化ツリー単位サイズ・フラグが最初に信号伝達されて0に等しいことに基づいて、前記32ピクセル符号化ツリー単位サイズ・フラグが信号伝達され、1に等しく設定され、前記64ピクセル最大ルーマ変換サイズ・フラグは信号伝達されない、請求項9に記載の方法。

【請求項12】

前記128ピクセル符号化ツリー単位サイズ・フラグが最初に信号伝達されて0に等しいことに基づいて、前記32ピクセル符号化ツリー単位サイズ・フラグが信号伝達され、1に等しく設定され、前記64ピクセル最大ルーマ変換サイズ・フラグは信号伝達されない、請求項9に記載の方法。

【請求項13】

前記第1のフラグは、最小の符号化ツリー単位サイズが適用されるかどうかを示し、前記第2のフラグは、最大の符号化ツリー単位サイズが適用されるかどうかを示す、請求項1に記載の方法。

【請求項14】

前記第1のフラグが最初に信号伝達され、前記第2のフラグは、前記最小の符号化ツリー単位サイズが適用されないことに基づいて信号伝達される、請求項13に記載の方法。

【請求項15】

前記第2のフラグは、最小の符号化ツリー単位サイズが適用されるかどうかを示し、前記第1のフラグは、最大の符号化ツリー単位サイズが適用されるかどうかを示す、請求項1に記載の方法。

【請求項16】

前記最小の符号化ツリー単位サイズが適用されないことに基づいて、64ピクセル最大ルーマ変換サイズ・フラグが信号伝達される、請求項13に記載の方法。

【請求項17】

10

20

30

40

50

プロセッサによって実行される、ビデオ・デコードのための方法であって、当該方法は：  
エンコードされたビデオ・データを受領する段階と；

シーケンスパラメータセットまたはスライスヘッダにおいて2つのフラグを設定することによって信号伝達された、前記ビデオ・データに関連する符号化ツリー単位サイズを、  
前記エンコードされたビデオ・データから判別する段階であって、

前記2つのフラグのうちの第1のフラグであって、第1の符号化ツリー単位サイズに対応する第1のフラグを読み、

前記第1のフラグが1である場合は、前記2つのフラグのうちの第2のフラグは信号伝達されず、前記第1の符号化ツリー単位サイズに基づいて前記ビデオ・データをデコードし、

前記第1のフラグが0である場合は、前記2つのフラグのうちの前記第2のフラグを読み、信号伝達される前記第2のフラグに基づいて前記ビデオ・データをデコードすることを含み、

前記第2のフラグが1である場合は、前記ビデオ・データは第2の符号化ツリー単位サイズに基づいてデコードされ、前記第2のフラグが0である場合は、前記ビデオ・データは第3の符号化ツリー単位サイズに基づいてデコードされる、  
方法。

**【請求項 18】**

請求項 1 ないし 17 のうちいずれか一項に記載の方法を実行するためのコンピュータ・システム。

**【請求項 19】**

一つまたは複数のプロセッサに請求項 1 ないし 17 のうちいずれか一項に記載の方法を実行させるためのコンピュータ・プログラム。

10

20

30

40

50